愛知県循環器病対策推進計画 (案) 新旧対照表

記号	頁	行·項目	修正後(最終案)	修正前(原案)	修正理由等
A	1	第1章 1計の 1章 1章 1章 1章 1章 1章 1章 1章 1章 1章 1章 1章 1章	第1章 計画策定の趣旨 1 計画策定の背景 わが国において、脳卒中、心臓病その他の循環器病(以下「循環器病*とする。)は、死亡及び介護を要する状態となる主要な原因となっており、生命や健康に重大な影響を及ぼす疾患であるとともに、社会全体に大きな影響を与える疾患といえます。 *循環器病には、虚血性脳卒中(脳梗塞)、出血性脳卒中(脳内出血、くも膜下出血など)、一過性脳虚血発作、虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞など)、心不全、不整脈、弁膜症(大動脈弁狭窄症、僧帽弁逆流症など)、大動脈疾患(大動脈解離、大動脈瘤など)、末梢血管疾患、肺血栓塞栓症、肺高血圧症、心筋症、先天性心・脳血管疾患、遺伝性疾患等、多くの疾患が含まれる。	第1章 計画策定の趣旨 1 計画策定の背景 わが国において、脳卒中、心臓病その他の循環器病(以下「循環器病」とする。)は、死亡及び介護を要する状態となる主要な原因となっており、生命や健康に重大な影響を及ぼす疾患であるとともに、社会全体に大きな影響を与える疾患といえます。	パブ意見を考記
В	16	第基((環予しに普【方4本Ⅰ1器防い関及今策章方))病や知す啓後】	【今後の方策】 ○ 食生活、運動、喫煙、飲酒などの生活習慣の改善について引き続き啓発を行うとともに、循環器病の発症予防・重症化予防には、生活習慣の改善と高血圧症や糖尿病等の生活習慣病の予防や管理が重要であることを啓発します。 ○ 循環器病の初期症状に関する情報や、発症時には救急要請するなどにより早期に医療機関を受診することの重要性などについて啓発に取り組みます。 ○ 学校等と連携して、子どもの頃から健康的な生活習慣や循環器病など生活習慣病予防についての知識が身につけられるよう啓発を行います。 ○ 働く世代などの若い世代に対して、効果的な啓発が実施できるよう企業や医療保険者等の関係機関と連携した取組を実施します。 ○ 関係機関・団体等と協力して、県民が、食生活や運動などの健康づくりに取り組みやすい環境の整備や、改正健康増進法に基づき受動喫煙対策を推進し、望まない受動喫煙のない環境の整備を引き続き行っていきます。	【今後の方策】 ○ 食生活、運動、喫煙、飲酒などの生活習慣の改善について引き続き啓発を行うとともに、循環器病の発症予防・重症化予防には、生活習慣の改善と高血圧症や糖尿病等の生活習慣病の予防や管理が重要であることを啓発します。 ○ 循環器病の初期症状に関する情報や、発症時には救急要請するなどにより早期に医療機関を受診することの重要性などについて啓発に取り組みます。 ○ 学校等と連携して、子どもの頃から健康的な生活習慣や循環器病など生活習慣病予防についての知識が身につけられるよう啓発を行います。 ○ 働く世代などの若い世代に対して、効果的な啓発が実施できるよう企業や医療保険者等の関係機関と連携した取組を実施します。 ○ 関係機関・団体等と協力して、県民が、食生活や運動などの健康づくりに取り組みやすい環境の整備を引き続き行っていきます。	パブ意見を考記

愛知県循環器病対策推進計画(案) 新旧対照表

記号	頁	行•項目	修正後(最終案)	修正前(原案)	修正理由等
С		基 本 力針	○ 心血管疾患患者には、在宅等の生活の場への復帰を促し、再発や再入院、要介護状態への移行などを防止するための運動療法、危険因子是正のための薬物療法や、生活指導、カウンセリング等を含む心血管疾患における包括的なリハビリテーションを実施し、疾患を管理することが必要です。 ○ 県内には、心大血管疾患リハビリテーション料を算定している病院が54か所あります(愛知県医療機能情報公表システム(2020年度調査))。 ○ 本県における虚血性心疾患の退院患者平均在院日数は9.2日であり、全国平均の8.6日と比べてやや長くなっています(図表31)。 ○ 地域の医療や介護サービス等の連携により、急性期の入院中だけでなく回復期以降も、再発や再入院防止のための患者教育を含めた包括的なリハビリテーションが、継続して受けられるよう体制の整備が求められています。	 心血管疾患 ○ 回復期の心血管疾患患者には、在宅等の生活の場への復帰を促し、再発や再入院、要介護状態への移行などを防止するための運動療法、危険因子是正のための薬物療法や、生活指導、カウンセリング等を含む「心大血管疾患リハビリテーション」の実施が必要であるとされています。 ○ 県内には、心大血管疾患リハビリテーション料を算定している病院が54か所あります(愛知県医療機能情報公表システム(2020年度調査))。 ○ 本県における虚血性心疾患の退院患者平均在院日数は9.2日であり、全国平均の8.6日と比べてやや長くなっています(図表31)。 	パブコメ の意考 記
	24		【今後の方策】 ○ 地域の医療機関等の連携による発症後の急性期医療からリハビリテーションに至るまでの医療提供体制の整備を進めていきます。 [以下、略]	【今後の方策】 ○ 地域の医療機関の連携による発症後の急性期医療からリハビリテーションに至るまでの医療提供体制の整備を進めていきます。 [以下、略]	

愛知県循環器病対策推進計画(案) 新旧対照表

記号	頁	行·項目	修正後(最終案)	修正前(原案)	修正理由等
D	31	(Ⅱ)	【今後の方策】 ○ 子どもの頃からの健康的な生活習慣の確立や、循環器病を始めとする生活習慣病予防、心肺蘇生法等の知識と技術を身につけられるよう保健教育に取り組みます。 ○ 学校心臓検診による児童生徒の循環器病の早期発見や疾患の管理に係る取組を引き続き推進します。 ○ 日常的に人工呼吸器による呼吸管理等を要する医療的ケア児が、在宅においても安心して療養できるよう、小児在宅医療に対応できる医師の養成や小児在宅医療関連従事者間での連携構築を目的とした研修を実施します。 ○ 成長過程を通じた切れ目ない支援を行うことができるよう、移行医療の現状を把握するなど体制整備に向けた検討を始めるとともに、小児患者とその家族が、安心して暮らすことができるよう医療、保健福祉、教育機関等の関係機関の連携による相談支援及び疾病にかかっている児童の自立支援を引き続き推進します。	【今後の方策】 ○ 子どもの頃からの健康的な生活習慣の確立や、循環器病を始めとする生活習慣病予防、心肺蘇生法等の知識と技術を身につけられるよう保健教育に取り組みます。 ○ 学校心臓検診による児童生徒の循環器病の早期発見や疾患の管理に係る取組を引き続き推進します。 ○ 日常的に人工呼吸器による呼吸管理等を要する医療的ケア児が、在宅においても安心して療養できるよう、小児在宅医療に対応できる医師の養成や小児在宅医療関連従事者間での連携構築を目的とした研修を実施します。 ○ 成長過程を通じた切れ目ない支援を行うことができるよう、移行医療の体制整備を検討するとともに、小児患者とその家族が、安心して暮らすことができるよう医療、保健福祉、教育機関等の関係機関の連携による相談支援及び疾病にかかっている児童の自立支援を引き続き推進します。	の意見を

愛知県循環器病対策推進計画(案) 新旧対照表

記号	頁	行·項目	修正後(最終案)	修正前(原案)	修正理由等
		図表15 平均寿命と 健康寿命	9件 2013年 71.65 8.75年 2019年 72.85 86.36 2019年 74.65 11.71年 86.36 2019年 76.32 10.59年 87.25 性 全 国 72.68 女 愛知県 76.09 11.16年 87.25 2019年 76.09 年 76.09 年 2019年	明性 2010年 71.74 7.88年 2013年 71.65 80.40 8.75年 2016年 73.06 8.75年 2016年 74.93 11.21年 86.14 2013年 74.65 11.71年 86.36 性全国 72.14 女愛知県 76.32 10.59年 76.32 性全国 74.79 第0 年 2016年 74.79 第0 年 2016年 74.79 第0 年 2016年 75.32 性全国 74.79 第0 年 2016年 76.32 性全国 74.79 年 2016年 76.32 性空知県衛生年報、健康寿命は厚生労働科学研究「健康寿命及び地域格差の要因分析と健康増進対策の効果検証に関する研究」 2016年の健康寿命 (年) 第2016年の健康寿命 (年) 第2016年の使用を2016年の	
_	36	(参考) 「愛器」 「愛器」 「愛器」 「愛器」 「選話」 「選話」 「選話」 「選話」 「選話」 「選話」 「選話」 「選話	日標指標 現状値 目標 データソース データ年次 使康寿命(年) 男性 72.85 延伸 厚生労働金厚生料字審議会 (第16回健康日本21(第二次) 女性 76.09 延伸 操進専門委員会」会議資料 2019年 接通専門委員会 会議資料 2015年 上 20.7 減少 女性 20.7 減少	日標指標 現状値 日標 データソース データ年次 日標 データソース データ年次 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	時点修正
_	概	第2章 循環器病を めぐる現状 健康寿命	健康寿命(2019 年): 男性 72.85 年(全国 72.68 年)、女性 76.09 年(全国 75.38 年)	健康寿命(2016 年): 男性 73.06 年(全国 72.14 年)、女性 76.32 年(全国 74.79 年)	